

## 経済学研究科(会計専門職専攻) リサーチペーパーに係る評価に当たっての基準

### ○ リサーチペーパーの評価基準

#### (ア) 満たすべき水準

会計分野における専門知識のみならず隣接諸領域に関する知識を修得し、会計という高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識、高度な分析能力、及び卓越した実務的な知識を有することを証示するに足るものであること。

#### (イ) 評価項目

1. 論文の主題を究明することに社会的・学問的な必要性が認められる。
2. 研究対象である主題に即した研究方法が選択されている。
3. 研究対象が、広い視野(歴史的・分野横断的・国際的な文脈)の下に捉えられている。
4. 広い視野と専門的知識・技能を修得しており、それに基づいて、専攻分野において独創的な研究を遂行する能力、又は、高度に専門的な職業に従事でき、その専攻する特定の領域において優れた能力を有していることが示されている。
5. 先行研究を踏まえた検討が行われており、関連する文献・史資料等を的確に収集・処理・引証し、その出典を明確に示している。
6. 論旨が明快で一貫しているとともに、適切な表現によって論述されている。
7. 既存の研究には見られない独創的な分析、解釈、提案等を行っている。

#### (ウ) 審査委員の体制

審査委員は、会計大学院運営委員会が指名する2名の教員とする。

#### (エ) 審査の方法

1. リサーチペーパーを提出した者に対して、審査及び最終試験を行い、上記の評価項目により総合的に評価する。
2. 最終試験は、リサーチペーパー及びこれに関連のある専攻分野について、口頭試問により行う。